

令和3年度九州地域飼料増産研修会概要

1. 日時：令和3年11月17日（水）13：00～17：00
2. 場所：熊本城ホール3F大会議室
3. 主催：九州農政局、一般社団法人 日本草地畜産種子協会
4. 内容
 - 生産・利用技術研究の紹介
飼料用トウモロコシの安定多収に向けて
～暖地の作型、堆肥の利用、ツマジロクサヨトウ対策、気象リスクへの対応～
農研機構九州沖縄農業研究センター暖地畜産研究領域 加藤 直樹 氏
 - 取組事例の紹介
 - (1) 熊本県内における飼料用トウモロコシの生産状況と栽培技術等への取組
らくのうマザーズ 営農指導課 増田 靖 氏
 - (2) 宮崎県における飼料用トウモロコシ栽培の現状と課題
宮崎県総合農業試験場専門技術センター 藤井 真理 氏
 - (3) 九州での子実用トウモロコシの可能性
子実用トウモロコシ生産者 結城 良裕 氏
 - 情報提供
 - (1) 令和4年度予算概算要求の概要
農林水産省畜産局飼料課 藤岡 康恵 氏
 - (2) 協会の飼料増産に係る取組み
一般社団法人 日本草地畜産種子協会 田中 誠也 氏
5. 参集範囲：農業者、畜産関係団体、地方公共団体、研究機関等
6. 参加人数：100名程度

熊本城ホールにて、座学研修を開催しました。飼料用トウモロコシの作型、気象リスクへの対応等についての研究紹介、熊本県・宮崎県・福岡県における飼料用トウモロコシの生産状況や課題等の事例紹介、令和4年度予算の概要及び日本草地畜産種子協会の取組について情報提供の後、意見交換を行いました。

今回の研修では、畜産及び耕種の関係者に多数ご参加頂き、九州地域での耕畜連携の強化に向けて、具体的な課題や対応方向等を共有することができました。

